

四日市市こども・子育て情報WEBサイト

よんいく オープン

令和7年3月、本市は「こどもまんなか社会」の実現に向けて、こどもと子育てに関する本市の考え方や具体的な取り組みを示す

「四日市市こども計画」を策定しました。

この計画の期間は令和11年度までの5年間です。

こどもの視点をより重視しながら、地域、団体、学校、行政などが連携し、社会全体でこどもの育ちを支える、こどもと子育てに優しいまちを目指していくために、さまざまな取り組みを進めています。その一環として、こどもや子育て世帯に向けた

WEBサイト「よんいく」の開設をしました。

また、こどものさまざまな居場所の創出にも力を入れています。

四日市市こども・子育て情報WEBサイト よんいく とは？

こども・若者向けの本市の取り組みや、子育て情報、お出掛けスポットが検索できるサイトです。これまでさまざまな媒体でお知らせしていた、こども・子育て情報を一つのWEBサイトに集めたのが特徴で、より分かりやすく情報を発信しています。

「よんいく」の名称には、「四日市市でこどもと未来を育む」という思いが込められています。

チラシ、雑誌、ホームページ、SNS…情報を得る媒体が多すぎるなあ

「よんいく」で相談先、イベント情報、保育園などの施設情報がまとめて分かる!!



POINT 1

「知りたい」がすぐ見つかる！検索が簡単

目的別カテゴリー

年齢や目的に応じて、簡単に検索できます。妊娠や出産など、その時々に必要なとなる制度や手続きの情報を、ライフステージごとにまとめています。



新着情報

子育て情報や助成制度、保育士募集などの最新情報を「新着情報」で確認でき、新しい情報が見つけやすくなっています。



イベント情報

日付から検索ができるほか、イベント名や会場名、こども・子育てに関連するキーワードを入力することで、簡単にイベント情報を検索できます。興味のあるイベントを見つけてください。

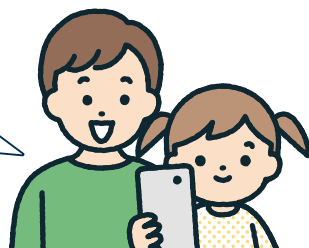


POINT 2

こども・若者向けの取り組みが一目で分かる！

こども・若者の皆さんに、もっと本市を好きになってもらうために、本市の取り組みについて、分かりやすく紹介しています。

こども・若者に向けたページもあるんだね！



四日市市こども計画

「四日市市こども計画」と、本市のこども施策について解説しています。

四日市市（よっかいちし）こども計画（けいかく）で定（さだ）めた取（と）り組（く）み（一部（いちぶ））

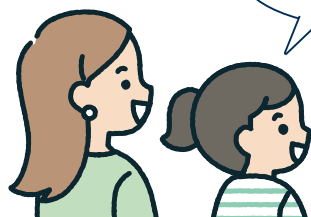


「四日市市こども計画」に振り仮名を振ったり、やさしい言葉を使ったりして、より分かりやすくした「四日市市こども計画（やさしい版）」のデジタル版をよんいで読むことができます。

こども計画クイズ

四日市市こども計画に関するクイズもあります。全部で5問。ぜひチャレンジしてみてください。

クイズ形式で楽しみながら学べる！



POINT 3

こども・若者の皆さんの「声」が届きやすい

本市は、こども家庭庁が掲げる「こどもまんなか」の趣旨に賛同し、令和5年7月7日にこどもの意見を聴き、尊重し、こどもにとって良いことは何かを考え、実際に行動する「こどもまんなか応援サポーター」となることを宣言しました。

その一環として、よんいくは、こどもまんなか社会に関することや、こどもの意見を聴くコンテンツを配信していきます。具体的には、本市からさまざまなテーマで市内のこども・若者の意見を聴くアンケート調査「こども向け市政ごいけんぱん」などを随時実施をしています。

本市の取り組みについて伝えたいことがある人は、ぜひ声を聴かせてください。



小中学生のタブレット端末にもコンテンツを配信し、アンケートを随時実施していきます



ポイント

こどもまんなかとは

すべてのこどもや若者たちが幸せに暮らせるように、常にこどもや若者の今とこれからにとって最も良いことは何かを考え、社会全体で支えていくこと。



出典：こども家庭庁（参照 2025-11-11）
<https://www.cfa.go.jp/policies/kodomo-mannaka>

こどもまんなか なアクションの例

- こども会議を開いて、こどもの意見を聴いて〇〇に反映する
- 電車の乗り降りで、ベビーカーを優先する
- トイレの行列などで子連れに順番を譲る
- 荷物を持っている子連れにドアを開ける
- お店に子連れ優先席をつくる など

できることからご協力をお願いします

知っていますか？

子どもの権利条約

世界中すべてのこどもたちがもつ権利（人権）を定めた国際的な条約で、1989年に国連で採択されました。日本を含む196の国・地域（令和7年11月現在）がこの条約を守ると約束しており、世界で最も広く受け入れられている権利条約です。



権利を守るための大切な考え方（一部）

- 差別の禁止
- こどもの最善が第一に考えられる権利
- 命を守られ、成長できる権利
- こどもの意見の尊重

こどもたちが持つ大切な権利（一部）

- 生きる権利
- 育つ権利
- 守られる権利
- 参加する権利

こどもと一緒につくっていく 「居たい」「行きたい」「やってみたい」と思える「居場所」。

こどもにとって、過ごす場所や時間、関わる人とのすべてが「居場所」です。どこを居場所と感じるか、その場でどう過ごすかは、こども自身が決めるものです。

本市では、令和7年7月から多様なこどもの居場所づくりに取り組んでいます。こども・若者の意見を聴いて、市内の公共施設を活用し、学校や地域、民間団体などと連携しながら、対象が異なる3種類の居場所を提供しています。



／令和7年度はこんな居場所づくりをしています／

高校生の年代が自由に過ごす居場所



駅近のいばさんによって、学校帰りに利用しやすい

Interview

ヤスジマベースのポスターを見たことがきっかけで、ここに来るようになりました。一人で勉強したり、友達とおしゃべりしたりしています。

ヤスジマベースの魅力は、スタッフが優しく、話しやすいところです。スタッフと仲良くなって、今では恋バナをすることもあります。あと、問題集を印刷したいときに、コピー機が無料で使える環境も気に入っています。LINEの友達登録をしてスタンプを貯めると、スペシャルドリンクやミニアフタヌーンティーセットをもらえるのもうれしいです。

これからもヤスジマベースのような居場所があるといいなと思います。



四日市高校 見並さん

小中学生のための体験ができる居場所

あさけプラザで小中学生を対象に、さまざまな学びや体験を実施しています。



小学生高学年のための身近な居場所

2カ所の地区市民センターで、学校の宿題を中心に勉強をしたり、さまざまな遊びをしたりしています。



このほかにも、こんな居場所があります

児童館・こども子育て交流プラザ



こどもの家・北部児童館・塩浜児童館・こども子育て交流プラザは、18歳未満のこどもとその保護者が利用できます。さまざまな遊びや体験が魅力です。

さまざまな遊びや体験が魅力です。

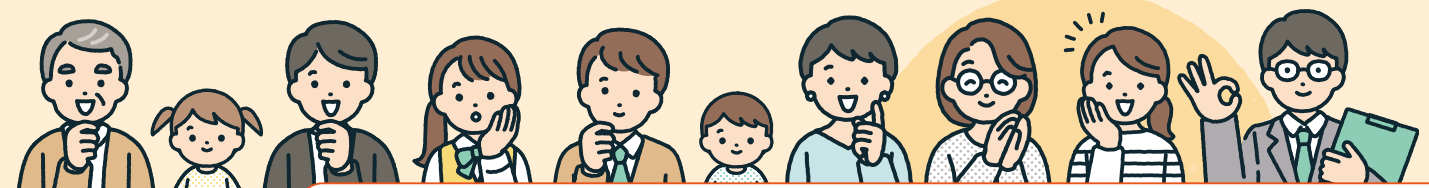
こども食堂



こども食堂は、さまざまな団体が、市内のさまざまな場所で開催しています。食事をきっかけに利用者同士で遊んだり、スタッフとおしゃべりしたり、みんなが安心して楽しめる居場所です。

り、スタッフとおしゃべりしたり、みんなが安心して楽しめる居場所です。

今後も、さまざまな形でこどもの意見を聴き、こどものニーズに応じた居場所づくりを進めます。これらの居場所を通じて、こどもたちがさまざまな場所で、多くの人々と関わりながら、ウェルビーイング（身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態のこと）で成長できるきっかけをつくっていきます。



●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は こども未来課 ☎354-8038 FAX354-8061

